大野小学校 Tel 5 **–** 0 4 4 0.9

E

Đ, 長 心の成長を促す時期です ŧ 実感する秋

の風物詩でもある「曼珠 ように、九月も彼岸を過 咲き始めるとともに、「稲 沙華(彼岸花)」も一斉に 気候になってきました。秋 ぎて、ようやく秋らしい といったことわざにある 「暑さ寒さも彼岸まで」



刈り」も本格的になり、黄金色の稲をコンバ めておきたいものです。 刈り取りの様子も秋の風物詩として心に留 す姿は見られなくなりましたが、こうした す。昔のように家族総出で稲刈りに汗を流 インで刈り取る様子をあちこちで見かけま

が、色取り取りに豊かな実を付ける時期を じめとして春から育ててきた様々な植物 迎えます。 さて、秋は、「実りの秋」と言われ、稲をは

期に学校行事が多いのもそうした子供たち るためです。 の様々な「力」を発揮できる場をつくってい するには、気候的にも最適な季節です。二学 の学年で身に付けてきた様々な「力」を発揮 子供たちも同様に、秋は春からそれぞれ

画しています。子供たちにはその行事一つ は終わりましたが、今後も多くの行事を計 を期待しています。 「成長」を実感できる場面や機会になること つにチャレンジ精神をもって取り組み、や ・遂げる経験を積むことで、自分の心身の 二学期の大きな行事の一つである運動会

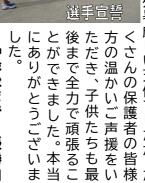
催しました。残暑厳しい天候でしたが、 大野小学校 九月十六日(土)、本年度の運動会を 最後まで

輝いた「大野っ子」~

た開

優勝目指して

運動会



『最後まで 優勝目

運動会にしよう」といったやる気が自主性 の「素晴らしい運動会にしよう」「心に残る 態度にも表れていました。きっと子供たち 競技の場面だけでなく、係の活動や応援の く姿を見せてくれました。それは、演技や と、子供たちはあらゆる場面でまぶしく輝 指して輝く **大野っ子』**のスローガンのも

動会でした。 しくみんなが輝いた運 ていたのでしょう。まさ や主体性となって表れ

低・中・高学年ごとの入 けていきます。本年度も べき姿を脳裏に焼き付 来年の自分たちのある せることで、下の学年は となって頑張る姿を見 学年が下の学年の模範 取組でもあります。上の は、色別の縦割りでの また、運動会の取組

学年の子供たちはリーダーシップを発揮し れ替え制で実施しましたが、それぞれ上の て下の学年を引っ張ろうとする姿が見ら れ、たのもしく感じました。下の学年の子

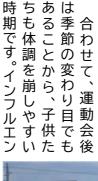
ることの大切さを学んだよ 供たちも、みんなで協力す



います。また、「頑張れ り返ることで、運動会ようになったのか」を振 共有できるようにして ることや周りの人の応 に向けてみんなで積み れたのか」「なぜできる だけでなく、「なぜ頑張 ちの頑張りを賞賛する には、こうした子供学校では、運動会 援のお陰であることを 上げた練習の成果であ

ばできるようになることが増える」という 長を実感できるように ことにも気付かせることで、自分自身の成

欲的に取り組んでいけ活動に向けて、また意 や成長をしっかりと認 けをお願いします。 るように、温かい声 めるとともに、今後の は、子供たちの頑張り しています。 保護者の皆様方に . か



ています。お子様の体調管理には十分配慮 ザや新型コロウイルス感染症もまだ流行. してくださるようによろしくお願いいたし



稲刈り・ いいそない体験(五年生)

刈り及びいいそない体験」をしました。 クラブの皆さんにご協力をいただいて、「稲 九月二十二日(金)、五年生が、にこにこ

体験から引き続く学習です。 っている体験学習の一つで、六月の田植え 毎年、五年生が農業体験の一環として行

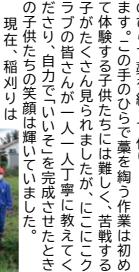


ったり、刈り取った稲を 初はうまく鎌が使えなか 植えた苗が大きく育って がら手作業による稲刈り いることに喜びを感じ にチャレンジしました。最 子供たちは自分たちが

くださり、最後まで刈り取ることができま こクラブの皆さんが、上手に声かけをして している子がたくさんいましたが、にこに 束ねる作業に苦戦したり

その後、体育館に戻っ

のひらで藁を綯って作り 縄のことです。両手の手 ために使用する手作りの りをする際に稲を束ねる ました。「いいそ」は稲刈 て「いいそない体験」をし





とうございました。 にこにこクラブの皆さん、本当にありが

りました。